

次世代を育てよう 当院の取り組み

済生会西条病院

○烏谷 力¹⁾ 秋山 直美¹⁾ 立石 さち¹⁾ 小笠原 啓¹⁾
塩見 美里¹⁾ 加地 美蘭¹⁾
石井 博²⁾

1)看護部 2)医師

C.O.I.情報

この演題発表に関し、演者、共同演者
いずれも開示すべきC.O.I.はありません

施設紹介・パス委員会の活動内容は
当院小笠原が発表しましたので
省略させていただきます



2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

当院が抱える問題

- 時間外労働制限推進のもと
委員会活動をいかにスリム化するか
- パスの電子化をどのタイミングで行うか

次世代が育たない



2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

次世代が育ちにくい理由

- 人事異動による委員会スタッフの入れ替わり
(委員会経験歴5年未満 7割)
- 業務多忙で委員会に出席できないことが多い
- 院内教育制度の不備
- 委員会活動に手当がつかない

学ぶ機会の減少と
モチベーションの問題



2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

トライアル 2021年11月～2022年3月

■ コアチームを結成

パス実務経験の浅い看護師4名と演者を含む5名
(実務経験 0～2年 3名、2～4年 1名)

■ 個別勉強会を主催

パスの基礎知識、委員会活動内容

■ パス集計・分析の実践

集計・分析をするパス5種類を選定
各自にパス1個ずつ割り当て、データ収集をもらい
毎月分析会議を行う

2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

■ 集計はいつしましたか(複数回答可)

業務の合間 3名

業務時間外(休日を含む) 5名

■ チームメンバーについて

固定制がよい 1名

交替制がよい 3名

どちらともいえない 1名

集計・分析の
負担軽減が課題



2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

トライアル後にアンケートを実施

- 入院期間によって、算定額が変わることについて理解できましたか？

全員が理解できた

- パスの活用の仕方を理解できましたか？
(作成→運用→集計→分析→改訂)

全員が理解できた

学習・実践を通して
パスの必要性と、本来の活用方法を
学べたようです



トライアル結果

- チーム制にして良かった点
パスを基礎から学んでもらえた
経験を通してPDCAサイクルを理解してもらえた

- チーム制の問題点
個々にかかる負担が重いため
メンバーは交替制が望ましい



2022 済生会西条 クリニカルパス委員会

最後に

- トライアルは成果と課題を浮き彫りにした
- 臨床経験も浅いスタッフを選出したため、今回の学びを、所属部署にどの程度還元できるか、様子を見守っていきたい
- メンバーのうち1名が、意欲をもって本研修会で演題を発表したのは1つの成果と考える

